

市長記者会見記録

日時：2020年8月31日（月）14時00分～14時25分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：等々力球場オープン（建設緑政局、健康福祉局）

市政一般

<内容>

《等々力球場オープン》

【司会】 ただいまから、市長記者会見を始めます。

本日の議題は、等々力球場オープンとなっております。

それでは、初めに、福田市長から本議題について御説明いたします。市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 本日は、等々力球場のオープンにつきまして報告をさせていただきます。

それでは、お手元資料の1ページ目を御覧ください。

等々力球場につきましては、平成28年から改築工事を進めてまいりましたが、高校野球や社会人野球の大会が円滑に開催できる野球場として、令和2年10月10日にリニューアルオープンをいたします。等々力球場は、本市を代表するにふさわしい機能とグレードを有しており、フィールドの両翼100メートル、センター122メートルは県内最大となっております。

等々力球場の主な特徴でございますが、大会が円滑に運営できるよう多様な諸室などを備えており、さらに公園内にある野球場として親しんでもらえるよう、公園内遊歩道であるデッキを設けております。

また、等々力球場は災害時の活動拠点でもありますので、防災備蓄倉庫の整備なども併せて行っております。さらに、等々力緑地内にあります等々力老人いこいの家につきましても、等々力球場内に合築して整備をしております。

2ページにまいりまして、主な施設概要でございますが、フィールドは人工芝となっておりまして、収容人数は9,279人で、以前の球場と比べると5,000人ほど増えております。その他の施設概要と3ページの工事概要につきましては資料を御参照いただければと思います。

続きまして供用開始日でございますが、等々力球場につきましては、令和2年10月10日土曜日、等々力老人いこいの家につきましては令和2年10月12日月曜日

を予定しております。

続きまして、等々力球場の利用方法等でございますが、利用時間につきましては、季節によって異なっておりまして、表で示しておりますとおり、利用申込みは明日9月1日から本市ホームページで受け付けることとしております。

4ページ目にまいりまして、利用料金については表のとおりになっております。

次に、完成記念式典についてでございますが、等々力球場の供用開始に際しまして、10月10日土曜日10時から等々力球場グラウンドにて完成記念式典を開催いたします。さらに、同日の14時から、本市にゆかりのある社会人野球チームである東芝野球部とエネオス野球部にお越しをいただきまして、完成記念試合を実施する予定でございます。この記念試合につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内在住で定員500名といたしまして、市民の皆様を無料で御招待いたします。詳細につきましては、添付のチラシを御覧いただければと存じます。

最後に5ページにまいりまして、10月10日の完成記念式典と同じ日に、報道関係者の皆様を対象とした内覧会を実施いたします。こちらの内覧会につきましては、もう少し日が近づきましたら改めて詳細をお知らせさせていただきたいと考えております。

以上で、等々力球場オープンについての説明を終了いたします。

【司会】 それでは、ただいま御説明しました議題についての質疑応答に入らせていただきます。

なお、市政一般に関する質疑につきましては、本件の質疑が終了後、改めてお受けいたします。進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いいたします。

【幹事社】 利用料金なんですけれども、これは旧球場はそれぞれ幾らぐらいになりますでしょうか。

【市長】 旧の料金ですと、1回2時間以内ということでありました場合には、旧料金は2,500円であったところが、新料金になりますと1万1,500円ということになっております。

【幹事社】 ありがとうございます。この球場がオープンするに当たりまして、市長の思いといいますか、お聞かせください。

【市長】 地下埋設物等が予期せぬ形で発見されて、それについての追加工事があったりもしまして、工期自体は非常に大きく延びたということでありましたから、市内野球関係者は、とにかく一日も早い供用を切望されておりました。前球場、大変親しまれた施設でありましたけれども、大分老朽化も進んで、一刻も早くということと言

われていたので、ある意味、野球関係者のみならず、多くの市民の皆さんとこの完成を喜びたいと思います。

【幹事社】 ありがとうございます。

【幹事社】 1点だけ。これ、ちょっと将来的な話にはなる感じなんです、プロ野球をこの会場で開催したいとか、今、何か期待しているようなことがもしあれば、おっしゃっていただけますか。

【市長】 観客が入れるのが、収容人数が1万人を切っているということなので、プロ野球の1軍をお迎えすることは事実上不可能ということなんです、2軍に関してというのは可能性はなきにしもあらずかなとは思っています。

ただ一方で、周辺の駐車場の台数がどれぐらい必要だとかというのは、詳細については球団とかと関係者と調整しなくちゃいけない点があるのではないかなと思っています。

【幹事社】 ありがとうございます。

【幹事社】 じゃ、各社さん、お願いします。

【記者】 この球場、既に決まっている著名な大会とかそういうのはあるんでしょうかということと、あと、来年のオリンピックのときには、ここを何か活用するようなことはあるんでしょうか。

【市長】 最初の御質問については、担当からでもよろしいですか。

【記者】 はい。

【建設緑政局】 建設緑政局です。よろしくお願いたします。等々力球場につきましては、本市で、いわゆる公式野球が開催可能な球場として利用されているのが、神奈川県高校野球連盟さんであったり日本野球連盟さんであったり首都大学連盟さんであったり、そういった野球団体さんのほうが1年を通して利用調整会議で、ある程度大会の日程を調整して、それぞれの団体さんが各大会を開催しているというような使い方が実情でございます。

リニューアルした野球場につきましても、基本的な利用方法は従前と変わらず、同じような使い方がメインになりまして、それぞれ調整しているところで、それぞれの団体さんが各種大会を開催しているという形になります。

もう1点、2点目の来年のオリンピックというお話だったんですが、現時点で直接的にオリンピックの関係で、この野球場を使うという話は現時点では特にそういったお話は聞いてない状況でございます。

以上です。

【記者】 1点目のほうは、現時点ではまだ調整、例えば、この秋にこういう大会でというのはまだないということによろしいんですか。いつぐらいからなのでしょう。

【建設緑政局】 一応、供用開始しましたその後の10月12日から3月の末日までは、それぞれの、いわゆる調整会議というのは実際には既に終了しておりまして、例えば、12日からですと、いわゆる社会人野球さんのほうで12日から16日まで押さえていると。例えば、それが、手持ちにある資料ですと、西関東の予選リーグ戦というのが記載が入って、詳細な大会がどういう大会か分からないんですけど、一応そういう形で、いわゆる各団体さんが利用する日を押さえて、その中で大会を実施されているという形になってございます。

【記者】 10月12日からということは、この秋も公式戦として大会みたいなので、もちろんコロナでやるやらないというのはあるにせよ、例えば、高校野球の秋季大会だとか、そういうのはもう入っているのでしょうか。

【建設緑政局】 そうです。例えば、高校野球ですと、練習試合という形でグラウンドを押さえているというスケジュールはありますが、具体的な秋の大会という形での記載は、手持ちの資料にはそこまで入っていないので、申し訳ございません。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 今回、野球ということなんですが、例えば、アーティストがコンサートをしたりとか、そういったことにも使われるのでしょうか。

【市長】 コンサートというのが、陸上競技場のところでSHISHAMOのコンサートを予定していたということもあるので、ただ、周辺住民の皆さんへの、音を出すということに対する配慮は相当準備が必要で、そこがかなり制限せざるを得なくなると思います。

一方で、先ほど、オリンピックのときに使う、ほかにも何かあるのかといったときに、聞いている話ですと、私もまだ実際見てないのであれなんですけど、今度の競技場のスコアボードというのは4K並みのフルLEDスコアボードになるので、相当きれいな映像が映し出せるということなので、音楽イベントというのはなかなか厳しいかもしれませんが、純粋な野球以外の使い方は考え得るのではないかなとは思っています。

【記者】 映像とか、よく分かんないですけど、別に野球だけに限るわけでは……。

【市長】 そうですね。例えば、パブリックビューイングみたいなのも可能性としてはあるんじゃないかなと思います。

【記者】 ありがとうございます。

【記者】 公園内遊歩道であるデッキと書いてありますが、この写真にはどこか写っていますか。

【市長】 その写真って……、そこからだとちょっと見えづらいですね。もう少し引き……、2ページ。

【記者】 球場内を歩けるということですか。

【市長】 ぐるっと歩けるという形です。「デッキ」と書かれているの、見えますでしょうか。

【記者】 はい。下から歩いて……。

【市長】 5ページのほうがより分かりやすいかもしれませんね。5ページの図ですと、少し黄土色というか、道が走っているのが御覧いただけるでしょうか、外周を取り巻いている。

【建設緑政局】 すみません、5ページの資料を御覧いただきまして、写真を御覧いただきまして、センターのバックスクリーンの裏がちょうど真ん中ぐらいに写っているかと思うんですけど、その裏の位置の、いわゆる外野スタンドの外側に、園路じゃないですけども、写真で見ると茶色っぽく写っている通路みたいなもの、これが野球場の中ではなくて外側になりますので、ここが公園利用者の方がこのルートを歩けるような、日常歩けるような公園内の遊歩道的な利用が可能な外周園路といたしますか、野球場の外側を歩けるような、そういった造りになってございます。

【記者】 記念試合というのは、いわゆる公式戦を記念試合とするのか、それとも、このためだけにわざわざ開催するようなものなのか。

【建設緑政局】 この記念試合ですけれども、今回、東芝野球部さんとエネオス野球部さんで記念試合をやっていただけということなのですが、一応位置づけとしては、あくまでも両チームから見ればオープン戦ということで、11月にこの後、都市対抗、まだ代表も決定してございませんが、都市対抗野球も基本的には控えているということで、あくまでも今回、記念試合ということでお引受けをいただきまして、位置づけは両者ともオープン戦というか、いわゆる練習試合という位置づけの中で実施していただけるということです。

【記者】 なるほど。試合は500人招待、定員からするとかなり少ない状態ですけど、市民招待以外の方、関係者を含めて何人ぐらい入れるつもりでお考えなんですか。

【建設緑政局】 今回、記念試合につきましては、先ほど御説明させていただいたコロナの関係もございまして、おおむね内野スタンドが5,300人弱、収容人数としてはありますので、500名ということでおおむね10分の1程度ということで、十

分、3密といいますか、避けての利用が可能ではないかと思っております、現時点で事前申込みで市民の方を御招待して、関係者としても、現時点としてまだ特別、例えばですけど、エネオスさんが何名とか東芝さんが何名とか、そういった話まではまだ全然受けておりませんので、基本的には500名程度を前提に、そういった関係者としてのお話があれば、その辺はこれから調整するような形になるかと思えます。

【記者】 分かりました。ありがとうございます。

【司会】 そのほか、御質問いかがでしょうか。

それでは、本議題につきましてはこれで終了いたします。ここで、関係職員は退席をお願いします。

《市政一般》

《自民党総裁選挙について》

【司会】 続きまして、市政一般に関する質疑応答をお願いいたします。進行につきまして、幹事社様、よろしくをお願いいたします。

【幹事社】 ちょっと市政のことと離れて申し訳ないんですが、今、自民党で総裁選に向けた動き、日々活発化していますけれども、中には県内で選出されている議員さんの名前も挙がっていますけれども、市長として次の総裁に望むことといたしますか、どういった方になってほしいというのがもし具体的にあればコメントいただけますか。

【市長】 私とすれば、うれしいことに、県内の有力な方の名前が挙がっているということは、川崎市のこともよく御存じですし、そういう地域の事情、地方の現状についてよく御存じの方が選ばれるというのが非常に望ましいなとは思っております。

【幹事社】 ありがとうございます。

【幹事社】 各社さん、お願いします。

《令和元年東日本台風関連について》

【記者】 今日の報道で出ていたんですけれども、去年の台風の被害で排水管が逆流して被災した方々が市を提訴するということがあったんですけれども、彼らは、やっぱり水門を閉じないで逆流を招いたことを争点にすると考えているということを公の場で言っているわけなんですけれども、市としては、前回方針を転換して、逆流が確認されれば閉じますよと方針転換したという状況があると思うんですけれども、そういうことでは、市民の方々と思いは同じというか、問題意識は同じなのかなと思っております。つきましては、もし提訴された場合に、その点について市として争う気持ちみたいのがあるのかどうかということをちょっと、まだあれだと思っておりますけれども、伺いたいと思います。

【市長】 これまでも繰り返し、この御質問、議会の中でも受けてきたと思いますし、被害に遭われた方の心情を思えば、裁判でもって決着をさせたい、責任を追究したいというお気持ち、私もよく理解できます。一方で、行政側としての考え方はこれまで御説明してきたとおりで、そのことが裁判の争点になるのであれば、そのことを粛々と訴えていかなければならないという立場にありますので、そこはしっかり御説明をしていきたいと思っています。

【記者】 今回、提訴されることについて、市長としてはどのように思われますでしょうか。

【市長】 繰り返しで恐縮ですが、これまでも丁寧な説明をしてまいりましたけれども、心情を思うと、そういうことに至ってしまうのも致し方がないと受け止めています。

【記者】 分かりました。ありがとうございます。

【記者】 先ほどの質問に戻りまして、市長は自民党員ではないんですけども、総裁選挙、自民党の代表であると同時に国のリーダーを選ぶということになるかと思いますが、その選び方などについていろいろ議論がありますけれども、市長はどんなふうに使われるのが望ましいとお考えでしょうか。

【市長】 これは党内の手續の話ですので、党員でない私がとやかく言うのは差し控えさせていただきたいと思います。すいません。

《川崎フロンターレ関連について》

【幹事社】 先日、川崎フロンターレの中村憲剛選手が復帰戦でいきなりゴールを決めました。暗いニュースが多い中で、地元としてはいいニュースかと思いますが、受け止めをお願いいたします。

【市長】 そうですね。最高ですね。結構各紙の見出しのつけ方がそれぞれ面白いなと思いましたけど、本当にフロンターレサポーターとすれば、もう待ちに待った憲剛さんですので、それが復帰第1戦で復活のゴールを決めていただいたというのは本当にうれしいですし、元気が出ましたね。これからぜひ活躍を期待しています。

【幹事社】 ありがとうございます。

《新型コロナウイルス感染症関連について》

【記者】 すみません、コロナ絡みで1点。指定感染症の扱いの見直しみたいなことが国で議論されていますけれども、実際の現場を預かっている市長として、この議論、どういうふうに見ていますか。

【市長】 いろんな見方が複雑に絡み合っているんで、すばつと言い切れない部分が

多いんですけれども、ただ、今、方向性としては、現状大きく変わるというのは想定していないと思うんですが、そうだろうなと思います。私、現時点で何か、感染症法上の位置づけを変えてとこのを特に望んでいる立場ではありませんので、現状変更ですね、議論は専門家の推移を見守りたいと思います。

【記者】 望まないというのは、どんな理由から。

【市長】 望まないというのは、例えば、何類を何類に変えられるとということ、それなりにすごく影響が出てくるので、今、それぞれ課題はあるにしても、この枠組みの中で何とか頑張れているという感じはします。そういった意味でという意味です。

【記者】 現在の枠組みを直ちに必要までは感じないということですか。

【市長】 はい、そうです。

【記者】 分かりました。

【幹事社】 今日の午後、3市長で知事に御要望なされると伺っております。御要望活動の直前ではあるんですけれども、端的に内容をお伺いできたらと思うんですが。

【市長】 これまで3政令指定都市を含めて、神奈川モデルの構築に医療体制を含めて協力してきたので、そのことについてのさらなる連携と、それから、やはり連携といっても、措置されるものは措置されるものとして履行されなくちゃいけないという思いから、3市共通の課題について知事に要望するということです。

【幹事社】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか、御質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございます。

【市長】 ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)2355